

市民の願いが反映される民主的な議会運営を

大津市議会では、毎年五月の臨時議会で議長・副議長などの議会役員の変更、常任委員会・特別委員会の委員の改選などを行っています。日本共産党市議団は、この臨時会に当たって、各派に「大津市議会の民主的な運営と構成について」申し入れ、市民の負託に応え、市民の声を通る議会運営を進めるよう提案しています。

市民の願いを活かすまちづくりへ、

住民自治のよりどころとなる議会改革を

―日本共産党が各派に提案―

議員は対等の立場で 民主的な役員構成を

議員は市民の代表として選出されているわけですから、市長を支持する会派・議員もそうでない議員も対等です。日本共産党は議会を構成する会派の人数に応じて、議長は第一会派、副議長は第二会派、監査委員は第三会派などのルールを定めることを提案、また、現在各常任委員会や特別委員会の委員長・副委員長ポストなども、市長支持会派で独占している現状をあらため、国会のように会派の人数に応じて配分するべきと申し入れました。

して、市民の目線で活動改善をはかることを提案しています。

市民本位の市政へ 政策論戦活性化など議会改革を

医療・介護などの社会保障、子育てや教育、景観やまちづくりなど、安心して暮らせる市政への市民の願いは切実です。大津市が自治体らしい創意を発揮して、市民生活を支えるためにも、議会が市政をチェックするとともに、住民の願いを実現することがこれまで以上に大切になっています。日本共産党は議会での議論をさらに市民に開かれたものにし、市民本位の市政へ更なる議会改革を提案し、ひきつづきがんばります。

海外視察中止、 市民の目線で議会活動改善を

景気後退で市民生活が大変なとき、議会がその必要性が疑問視されるような海外視察旅行などは中止し、他都市視察などもインターネットや資料請求などで間に合うものについては、経費節減に努めるべきです。日本共産党は現在も海外視察には参加していませんが、議会全体と

- これまでの議会改革の主な内容
- 決算委員会の設置
- 議会互助会への公費負担廃止
- チェック機能強化のため、行政委員会への不参加
- 議会広報への発言議員名の掲載
- 議会のインターネット中継

今こそ憲法を守り、生かすとき ～憲法記念日に当たって～

5月3日は62回目の憲法記念日でした。3日はパルコ前で、こくた恵二衆議院議員を迎えて恒例の街頭演説会を行いました。『今の政治は憲法が保障する人権をないがしろにしています。日本共産党は「主権在民」「戦争の放棄」「基本的人権の保障」などを定めた今の憲法を守るため、みなさんとともに頑張ります』と決意を述べました。

4日は、滋賀9条の会主催、「憲法と私」と題したジェームズ三木さんの講演会に参加してきました。『今の憲法があるおかげで日本は六十年以上、戦争で1人も殺したことがない。「歴史の中継ランナー」として私達1人ひとりが今の「戦争しない、軍隊を持たない」という憲法を無傷で次の世代に手渡さなくてはならない』と訴えられました。

日本共産党は「戦争放棄・戦力不保持」「武力行使・威嚇の禁止」「国際紛争の平和的解決」というわが国の憲法を守り生かすため力をつくします。
(石黒かづ子市議)

働くルールの確立目指して
労働者が元気につどう



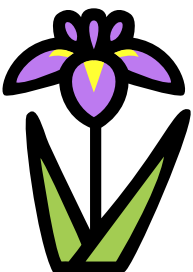
膳所公園にて第80回滋賀県民メーデー中央集会

「働くものの団結で、生活と権利を守り、平和と民主主義、中立の日本を目指そう」。第八〇回滋賀県民メーデー中央集会が五月一日膳所公園で開かれました。

日本共産党大津市会議員団は六名そろって参加しました。

不況を理由とした派遣切りや解雇が行われて、大津市のハローワークは職を求める人であふれんばかりです。こうした中で今回のメーデーは、「日電硝子で三〇人だった組合員が3ヶ月で一〇倍になった」と報告されるとともに、県労連推薦で県労働委員に任命された宮武真知子さんの挨拶など、労働者の団結と反撃が開始されたことが反映されたものとなりました。

雇用を守り労働者の権利を向上させるためには、派遣労働法の抜本改正、最低賃金の大幅アップなど国の制度を変えることが重要になっていきます。



憲法を守って、いのちと暮らし最優先の市政を

日本共産党
大津市会議員団